

(仮称) 葛飾区移動等円滑化促進方針 (案)

資料編

—目次—

1. 高齢者・障害のある方等とその特性.....	1
1.1 肢体不自由者	1
1.2 視覚障害者	2
1.3 聴覚・言語障害者	3
1.4 知的障害者	4
1.5 精神障害者	5
1.6 発達障害者	6
1.7 内部障害者	7
1.8 妊産婦等（妊産婦・乳幼児連れ・ベビーカー利用者）	7
1.9 高齢者	8
1.10 外国人	8
2. 令和4年度関係者ヒアリング・アンケート調査結果	9
3. まち歩き調査の結果概要	12
3.1 京成立石駅周辺地区	13
3.2 新小岩駅周辺地区	16
3.3 金町駅・京成金町駅周辺地区	19
3.4 堀切菖蒲園駅周辺地区	22
3.5 亀有駅周辺地区	23
3.6 四ツ木駅周辺地区	24
3.7 柴又・新柴又駅周辺地区	25
3.8 お花茶屋駅周辺地区	26
3.9 京成高砂駅周辺地区	27
3.10 綾瀬駅周辺地区	28
3.11 青砥駅周辺地区	29
3.12 水元周辺地区	30

1. 高齢者・障害のある方等とその特性

「移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン」（国土交通省）の参考資料編より、障害のある方、妊産婦、高齢者等が困っていることや配慮すること等を整理しました。

1.1 肢体不自由者

主な特徴

- ・移動に制約がある方もいます
- ・文字の記入が困難な方もいます
- ・体温調整が困難な方もいます
- ・話すことが困難な方もいます



(車) …車いす使用者
(杖) …杖使用者

困っていること

- ・落ちているものを拾ったり、ドアを開けたりすることが一人では、難しいことがあります。(車)
- ・急な坂道や凹凸のある道では、自力で動けないことがあります。(車)
- ・エレベータが混雑していると移動ができません。(車)
- ・多目的トイレ（スペースの広いトイレ）しか使用できません。(車)
- ・片手で荷物を持つことは大変です。(杖)
- ・傘をさすことが困難な場合があります。(杖)
- ・手すりを持つことやエレベータ等のボタンを押すことが困難な場合があります。(杖)

配慮することやコミュニケーションについて

- ・杖を使用していると片手が塞がってしまいます。階段の手すりは左右どちらも設置されていると非常に便利です。(杖)

2. 令和4年度関係者ヒアリング・アンケート調査結果

令和4(2022)年度に実施した「葛飾区移動等円滑化促進方針の策定に関する基礎調査」について、調査結果から整理された、主な施設に関する現状や課題を以下に示します(調査概要は本編 p.3-9 (後ほどページ数修正))

■鉄道

ハード面	<ul style="list-style-type: none">・鉄道事業者への調査より、一部の主要な駅におけるハードのバリアフリー化の整備は進んでいる一方で、一部の事業者からは駅の整備のための費用や工事・設置スペースの確保が課題として挙げられている。・障害当事者、高齢者、ベビーカー利用者等へのヒアリング調査や介護事業者へのアンケート調査から、一部駅において電光掲示板が改札階への設置が無いことやエレベーター周りの環境改善、同一駅においてもエレベーターが片側ホームにしか設置されていないといった点が課題として挙げられている。
ソフト面	<ul style="list-style-type: none">・鉄道事業者へのアンケート調査より、声かけサポート運動の実施や、ホームページでの情報提供、駅係員を対象とした教育訓練といった取組が実施されていることが明らかになっている。・障害当事者、高齢者、ベビーカー利用者等へのヒアリング調査からは、鉄道事業者や駅等によって駅員の対応が異なるといった点が課題として挙げられている。

■バス

ハード面	<ul style="list-style-type: none">・バス事業者へのアンケート調査より、すべての保有車両がノンステップバスとなっていることが明らかになっている。・障害当事者、高齢者、ベビーカー利用者等へのヒアリング調査においても、駅以外のバス停留所での乗降環境の向上が課題となっている。・ハードの課題として、1つのバス事業者のアンケート調査からも、駅以外のバス停留所での乗降環境の向上が課題として挙げられている。
ソフト面	<ul style="list-style-type: none">・バス事業者へのアンケート調査により、ホームページや車内での情報提供、乗務員の体験型の教育訓練といった取組を行っている現状がある。・障害当事者、高齢者、ベビーカー利用者等へのヒアリング調査からは、バス事業者によって運転手の対応が異なるといった点が課題として挙げられている。

3. まち歩き調査の結果概要

令和5年度と令和6年度に計12の地域で行ったまち歩き調査について、各地域で出た意見の一部を次頁以降に示します（概要は本編 p3-10（後ほどページ数修正）に掲載）。

令和5年度・令和6年度まち歩き調査の実施概要

開催日		場 所	コース数	参加人数 (事務局除く)
令和5年	10月19日（木）	京成立石駅周辺地区	3	16
	10月26日（木）	新小岩駅周辺地区	3	12
	11月2日（木）	金町駅・京成金町駅周辺	3	19
令和6年	5月23日（木）	堀切菖蒲園駅周辺地区	1	4
	5月27日（月）	亀有駅周辺地区	3	11
	6月2日（日）	四ツ木駅周辺地区	2	7
	6月6日（木）	柴又駅・新柴又駅周辺地区	1	5
	6月12日（水）	お花茶屋駅周辺地区	2	10
	6月16日（日）	京成高砂駅周辺地区	1	6
	6月19日（水）	綾瀬駅周辺地区	1	5
	6月28日（金）	青砥駅周辺地区	3	9
	7月3日（水）	水元周辺地区	2	7
計			25	111

3.1 京成立石駅周辺地区

<令和5年10月19日（木）開催>

「葛飾区の核となる広域的な行政拠点におけるまち歩き調査」をテーマに、葛飾区の行政拠点である総合庁舎、京成立石駅周辺や図書館といった区民の安全で快適な暮らしの観点でバリアフリーの整備状況を確認しました。

(1) Aコース（約2,050m）

葛飾区総合庁舎、サミットストア葛飾区役所前店を中心に、各施設とそれらを結ぶ経路を調査しました。

参加者：計9名（事務局3名、聴覚障害のある方2名と手話通訳2名を含む参加者6名）



出典：基盤地図情報（国土地理院発行）を加工して作成

サミットストア葛飾区役所前店については、通路やエレベーター、トイレなどの設備は通行のための幅やスペースが十分に確保されていたことを確認しました。一方で、車いす利用者にとっては高い所や奥の所の商品は手が届かないのではないかという意見がありました。

葛飾区総合庁舎については、施設が老朽化していることもあり、エレベーターのカゴの大きさが十分でないといった指摘がありました。バリアフリートイレについては、ベビーベッドが設置されていないものの、オストメイト機能が備えてあることを評価する意見がありました。ただし、オストメイト（内部障害）対応していることが外部から分からないことが課題として挙げられました。また、2階福祉課の窓口においては、耳マーク・手話マークが掲示されているものの、掲示場所の分かりにくさも課題として挙げられました。

経路については、植栽や根上がり、電柱、敷地内からはみ出している自転車等が通行の妨げになっているといった意見がありました。また、踏切については、車いすで通行する際にガタガタとして通りにくいという意見がありました。

■葛飾区総合庁舎

項目	気づいた点
案内	● 耳マーク・手話マークが掲示されており、情報提供できるようになっている（2F 福祉課） ▲ 耳マークの掲示場所が悪く、気付きにくい【写真1】
エレベーター	▲ 本館のエレベーターが1基のみで小さく、車いすと双子バギーが各1台乗った場合には、かごの中がぎりぎりになってしまう
トイレ	● オストメイトなどの様々な機能を備えている（2F トイレ）【写真2】 ▲ オストメイトの有無が分かりづらい【写真2】

【写真1】



【写真2】



■サミットストア葛飾区役所前店

項目	気づいた点
通路	● 通路が広く、2人乗りバギーでも通りやすい
商品棚・レジ・カウンター	▲ 車いすだと棚の商品が手前～真中しか届かない ● レジの支払い方法の掲示が車いす視点
エレベーター	● エレベーターが広く、カメラもありベビーカーや車いすでも乗りやすい
トイレ	● おむつが捨てられて良い ▲ 多機能トイレに補助便座・汚物入れが無い【写真3】

【写真3】



【写真4】



■経路（立石さくら通りなど）

項目	気づいた点
歩道	▲ 植栽や根上がり、電柱等が通行の妨げに【写真4】【写真5】 ▲ 自転車が敷地からはみ出していた ▲ 隣地境界上の歩道上空地にフェンスがあり、通行の妨げになっている
視覚障害者誘導用ブロック	▲ 色褪せし、劣化しているものが見受けられた
踏切	▲ 車いすだとガタガタして通りにくい

【写真5】

